

## 第1回 鎌倉市水産業振興計画推進委員会 会議録（概要）

【日 時】 平成30年12月25日（火） 午後3時～午後4時

【場 所】 鎌倉市役所本庁舎第1委員会室

【出席者】 9名

松山委員、小松委員、矢野委員、原委員、鈴木委員、山本委員、利波委員、伊東委員、牧之内委員

【欠席者】 1名

渡邊委員

【事務局】 5名

市民生活部奈須部長、茂木農水課長、土屋課長補佐、太田係長、森

### 【概 要】

（事務局）

定刻になりましたので、ただいまから鎌倉市水産業振興計画推進委員会を開催いたします。本日は、最初の会議であるため、委員長がまだ選出されていません。委員長が決まるまでの間、事務局で進行を行います。

はじめに、委員の委嘱を行います。

－委員委嘱－

続きまして、奈須部長より、ご挨拶を申し上げます。

（部長）

こんにちは、市民生活部長の奈須でございます。

本日は、年末の大変お忙しいところ、鎌倉市水産業振興計画推進委員会にご出席いただきありがとうございます。

皆様方には、日頃から本市の水産業振興にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。この場をお借りいたしまして、お礼申し上げます。

さて、水産業を取り巻く環境ですが、資源の減少、魚価の低迷、消費者の魚食離れ、また、漁業就業者の減少や高齢化など、厳しさを増しているものと認識しており、本市においても同様の状況が見受けられます。

このように厳しくなっている水産業を取巻く様々な環境に対応していくために、本市の水産業振興の施策のあり方について整理し、水産業の将来の姿について基本的な施策の方向性と取組むべき内容を示し、これまで脈々受け継がれてきた漁業が着実に次世代に引き継がれていくように、鎌倉市の水産業振興計画を策定したいと考えております。

委員会では、皆様がお持ちの知識や経験を、ぜひお出しいただき、計画の策定に向けて、

調査審議を行っていただければと思います。

限られた中での議論になりますが、よりよい計画が策定されますようご協力をお願いいたします。冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

部長は、別の公務のためここで退席させていただきます。

(事務局)

本日は、委員の皆様も初顔合わせでございますので、恐れ入りますが、お一人ずつ、自己紹介をお願いいたします。

－自己紹介－

引き続き、事務局職員を紹介させていただきます。

－自己紹介－

(事務局)

次に、委員長と副委員長の選任をお願いいたします。

鎌倉市水産業振興計画推進委員会条例施行規則により、委員長と副委員長は委員の互選により定めることになっております。

委員長、副委員長の選任について、ご意見がありましたらお願いいたします。

(委員)

事務局に一任します。

(事務局)

事務局案として、委員長に松山委員、副委員長に渡邊委員を提案いたします。

(委員)

異議なし

(事務局)

皆様にご了解いただきましたので、松山委員に委員長を、渡邊委員に副委員長をお願いいたします。

それでは、この後の進行を委員長に引き継がさせていただきます。

松山委員長、よろしくお願いいたします。

(松山委員長)

ただいま委員長に選任されました松山でございます。

今後2年間、鎌倉市水産業振興計画推進委員会の委員長を務めさせていただきます。委員の皆様におかれましては、ご協力よろしくお願ひいたします。

まず、議題に入る前に、会議の公開について、事務局から説明願ひます。

(事務局)

会議の公開についてですが、鎌倉市の審議会、協議会などは原則、公開となっています。この会議についても、鎌倉市水産業振興計画推進委員会条例施行規則に基づいて、次回の会議から、傍聴者を受け入れたいと考えています。

(松山委員長)

会議の公開について、事務局から説明がありました。このとおりに取り扱うこととしてよろしいでしょうか。

(委員)

確認しました。

(松山委員長)

これより議題に入ります。

議題1及び2について、一括して事務局から説明願ひます。

(事務局)

議題1 鎌倉の水産業の概要について  
資料に基づき説明。

議題2 鎌倉市水産業振興計画推進委員会について  
鎌倉市水産業振興計画の策定についてです。

本市の漁業は、沿岸漁業であり、地先の豊かな自然と共存して継承されてきました。全国的に見ると、沿岸漁業を取り巻く環境は厳しく、資源の減少や、魚価の低迷、消費者の魚食離れ、担い手の不足など多くの課題があり、本市においても同様と考えています。

このように厳しくなっている水産業を取巻く様々な課題に対応していくとともに、代々受け継がれ親しまれてきた本市の水産業が将来にわたり安定的に継承され、新鮮で安全な地場の海産物が市民に提供されるためにも、水産業に携わる関係者が本市水産業の将来あるべき姿を共有するための指針となるべき、「鎌倉市水産業振興計画」が必要になりました。

この計画は、「鎌倉市総合計画」を上位計画として、本市の水産業に関する施策を総合的かつ効果的に推進する行政計画となるものです。本市の水産業振興の施策のあり方について整理し、水産業の将来の姿について基本的な施策の方向性と取組むべき内容を示し、受け継が

れてきた漁業が着実に次世代に引き継がれていくために、「鎌倉市水産業振興計画」を策定するものです。

また、この計画は、今後想定される腰越漁港機能保全計画に基づく整備や鎌倉地域の漁業支援施設の整備にあたり、法令関係等の手続を行う際の基本的資料としても活用していく予定です。

次に、鎌倉市水産業振興計画推進委員会条例についてです。

このため、鎌倉市水産業振興計画推進委員会条例を平成 30 年 10 月に制定し、これにあわせて、計画の策定及び推進に関し調査審議を行う鎌倉市水産業振興計画推進委員会を条例に基づく諮問機関として設置しました。

今後のスケジュールについてです。

今後、2ヶ月に1回程度、委員会の開催を予定しており、平成 31 年 10 月頃を目途に、計画案の策定をお願いしたいと思います。その後、パブコメ、議会報告等を経て、計画決定していく予定です。

次回は、事務局で計画の概略を作成し、それをたたき台にして、ご協議していただければと考えております。

(松山委員長)

ただいまの事務局の説明に対して、ご意見等がありましたらどうぞ。

(委員)

説明について了承。

—委員の水産業に対するこれまでの関わり方などについて意見交換が行われました。—

(松山委員長)

最後に、その他として、事務局から何かありますか。

(事務局)

次回の委員会の日程ですが、2月に開催したいと考えております。日程につきましては、委員長と相談させていただいたうえで、ご報告させていただきたいと思います。

(松山委員長)

日程調整について、よろしく申し上げます。それでは、本日の会議をこれで終了します。